

# オンプレ製品のベンダ保守への適用

---

どこからでも、どこへでも接続する  
「お客様環境への接続」編

※この資料は企業セキュリティ水準の技術を必要とします

# オンプレ製品の顧客環境問題

## 新製品、新機能、新環境 導入時の顧客環境の問題、どうしていますか？

- 環境情報 ver確認だけで何往復ものやり取り
- 発生事象の元となる情報提供が得られない
- お客様の説明情報が用をなさない
- 顧客－営業－技術 の伝言ゲーム

- ログの受け渡しに  
1 Week
- デバッグ・システムの導入による問題確認に  
2 Week

時間が顧客の「購買熱」を奪ってしまう

やり取り中の「些細な事」で**信頼喪失**

評価期間があるケースでは**評価機会の喪失**

社内：営業－技術間で**信頼喪失**

システムは悪くないのに**評価の喪失**

もし顧客環境にアクセスできたなら、すぐにでも解析できるのに「**顧客の了承**」が得られない

評価導入は千載一遇のチャンス

顧客環境は最高レベルの価値ある情報

「顧客の了承」を得て顧客環境にアクセスする方法はないのか？

# 顧客環境にアクセスできない理由

リモナビならこんなことができます

## □ ネットワーク・セキュリティ

- ① 製品ベンダ用に社内環境アクセス・ドアを開けられない
- ② 検証環境をのみへのネットワーク的アクセス制限を実現できない

TCP/IP レベルで特定IPポートにのみ接続可能  
・導入製品のAPI利用のみに接続制限可能  
・接続タイミングは顧客にて選択可能

## □ リソース・セキュリティ

- ③ 重要情報（顧客情報など）を開示できない

リモナビでは解決できません  
事前にお客様と調整する以外にありません

## □ 顧客環境にアクセスしたい課題があるときってどんな時ですか？

- 新製品の**評価導入**、新機能の**評価導入**、新環境対応の**評価導入**

## □ ③の課題だけなら事前に顧客との間で導入調整できませんか？

- ③が課題にならないお客様だっています。
- 公開不能情報のみ切り離して解析アクセスする調整はできませんか？

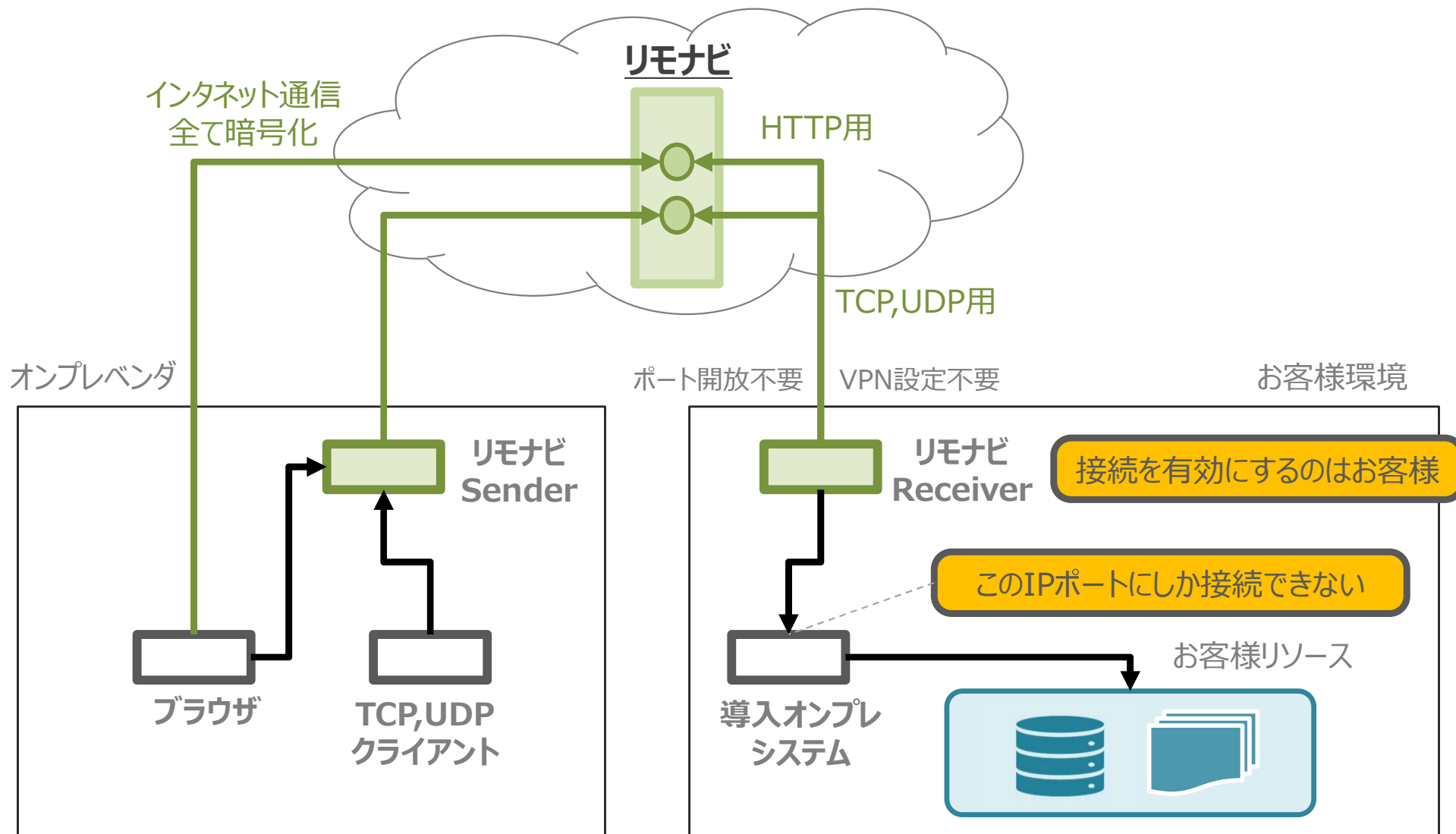
## □ ssh接続できずとも導入システムは自社システムです

- 提供システムにアクセスすれば必要な情報収集できるように仕込めるはず

顧客環境アクセスは製品だけでなく  
技術者を飛躍的に向上させます

顧客との調整にこそ信頼  
関係構築の糸口です

# 具体的な顧客環境への接続イメージ



※Sender, Receiverはソフトウェア。 Receiverをインストールするホストマシンから導入オンプレへのIPルートはお客様環境にて設定

# リモナビの運用オプション

## □こんな形でのリモナビ運用を提供できます

### ■ リモナビ運用のSaaSを、オンプレベンダが利用者として利用

- お客様環境にReceiverを配備して頂く

※リモナビでは顧客のカスタマイズ開発も承ります（カスタマイズ費用は別途）

### ■ オンプレベンダにてリモナビSaaSを運用する

- 評価導入の顧客調査だけでなく、個人・小企業向けをご自身で運用することで、サービスの一部としてお客様にリモナビの接続機能をご提供できます。 SaaSでもオンプレ・リソースへのアクセスが実現でき。

※リモナビではDB|DWH等と接続するベンダにこの方式の提供もしていきます

※顧客カスタマイズはもちろん対応します（カスタマイズ費用は別途）

リモナビは TCP|UDPLレベルの接続を実現します。

- ・ これはL4レイヤ以上のプロキシができることを意味します。
- ・ カスタマイズによってL7スタックを開発することによって、ETLなどを実現することも可能です。  
お客様が開発したL7スタックを組み込むなどの開発にも対応いたします。